

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で正しく使うことができている。送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く力が身に付いてきている。
- 文章の内容を端的に説明するといった要約する目的を意識して、内容の中心となる語や文を見つけて要約するための力が身に付いてきている。

### 【課題】

- 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと自分の考えを比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られる。
- 相手と自分との関係を意識しながら、尊敬語や謙譲語などの敬語について理解し、相手や場面に応じて使うことに課題が見られる。

## 2 算数に関する調査

### 【特長】

- 日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ったり、比例の関係ではないことを説明したりすることがよくできていた。
- 加法と乗法の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、分配法則を用いて正しく計算することができていた。

### 【課題】

- 高さが等しい二つの三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られる。
- 百分率を用いた表し方を理解し、示された割合から、基準量を具体的に決めて、それに対する比較量を捉えることに課題が見られる。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- G I G Aスクール構想で導入された I C T機器を授業の中で使用している頻度が高く、I C T機器が学習の中で役に立っていると回答している児童が多い。
- 「国語の授業の内容はよく分かる」、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答している児童が多い。国語の授業に主体的に取り組もうとする姿勢が感じ取れる。

#### 【課題】

- 朝食を毎日食べたり、毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりすることに課題がある。基本的な生活習慣を身に付けさせる必要がある。
- 授業時間以外で読書をする児童の割合が低く、活字離れが解答時間の足りなさにつながっている可能性がある。読書の時間を増やす取り組みが必要である。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- 敬語の役割や必要性を自覚してくる時期であるので、児童の日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができるように支援する。
- 百分率が日常生活の中で用いられている割合の便利な表現であることに気付くことができるよう配慮し、児童が割合を用いて考えることができるように支援する。
- 学校研究を通して、I C T機器を活用した分かる楽しい授業づくりに学校全体で取り組んでいく。I C T機器の活用をとおして、児童の主体的な学習につなげていく。
- 生活科や総合的な学習の時間を中心として、学校の教育活動全体を通じて地域の教育力を積極的に取り入れ、地域に根差した教育環境の構築に取り組んでいく。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 朝食を毎日食べたり、毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりするなど、基本的な生活習慣の定着について学校でも指導してまいりますが、ご家庭でもご協力をお願いします。
- 国語の授業で言葉には相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいます。日常生活の中でも相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。
- 学校では、教育活動全体を通して情報活用能力の育成に努めています。I C T機器の使用につきましては、約束に則った使い方ができるよう、ご家庭でもご指導ください。